

学校自慢

子供・保護者・地域をつなぐ

浦安市立入船南幼稚園長

たかはし よしこ
高橋 芳子



1 はじめに

本園は、浦安市の埋め立て地域の開発に伴う宅地造成による人口増加のため、入船地区に11番目の幼稚園として設立された。JR京葉線新浦安駅周辺の開発が著しく、都市化が進んだ。地域は、街として開発され30年ほど経ち、落ち着いた環境の住宅地になっている。今年38周年を迎え、園児数は109名である。地域の中で、地域を愛し、一人一人の個性が輝く幼児の育成に努めている。

2 地域交流活動を通して共に育ち合う

地域との交流活動は、本園の特色ある教育活動の一つである。様々な人との関わりや多様な体験活動の充実を図るために、ナナメの関係である“地域”とのつながりを大切にしている。

(1)ともじいの命の教室・護岸栽培活動

ゲストティーチャーの前田さん(ともじい)による手作り紙芝居教室は、年長児を中心に年間4回実施している。視覚教材を通して、自然のしくみや生命の不思議さなど分かりやすく話をしてくれるため、子供たちも参観者の保護者も興味津々である。また、年間を通して、護岸栽培活動も行っている。護岸の草むしりから始まり、肥料を撒いて土作りをした後に、花の種を蒔き、時々ペットボトルを持って水やりにも行く。まるで農作業をしているようである



が、子供たちは生き生きと楽しそうに活動している。ともじいと子供たちが汗を流して育てた花は、地域の方の癒しになり、子供たちが作業をしていると「いつもありがとう」と声をかけてくれる。運動会が終わった頃、護岸栽培活動は、年長児から年中児に引き継がれる。



(2)「学びと育ちの連続性」と「円滑な接続」

入船地区の子供に関する課題の共通理解を図り、課題解決に向けてチャレンジしている。年間3回、幼稚園・保育園・小学校・中学校との合同研修の開催、相互参観、交流活動など計画的に実施し、年長児は、保育園児と混合のグループを作り、1年生と風車を作って一緒に遊んだり、5年生と学校探検、給食体験の交流も行ったりしている。就学への期待や小学生に対するあこがれの気持ちをもつ機会にもつながっている。毎年行われる地域文化祭では、学校・園だけでなく、地域や保護者も参加し、子供と大人が一緒になって楽しむことができる。

3 おわりに

入船中学校区の合同目標である「地域とともに豊かな未来を切り拓く子供をはぐくむ」ことを目指して、家庭や地域の教育力を積極的に活用し、幼児の生活に潤いと豊かさを保障できるように努めていきたい。